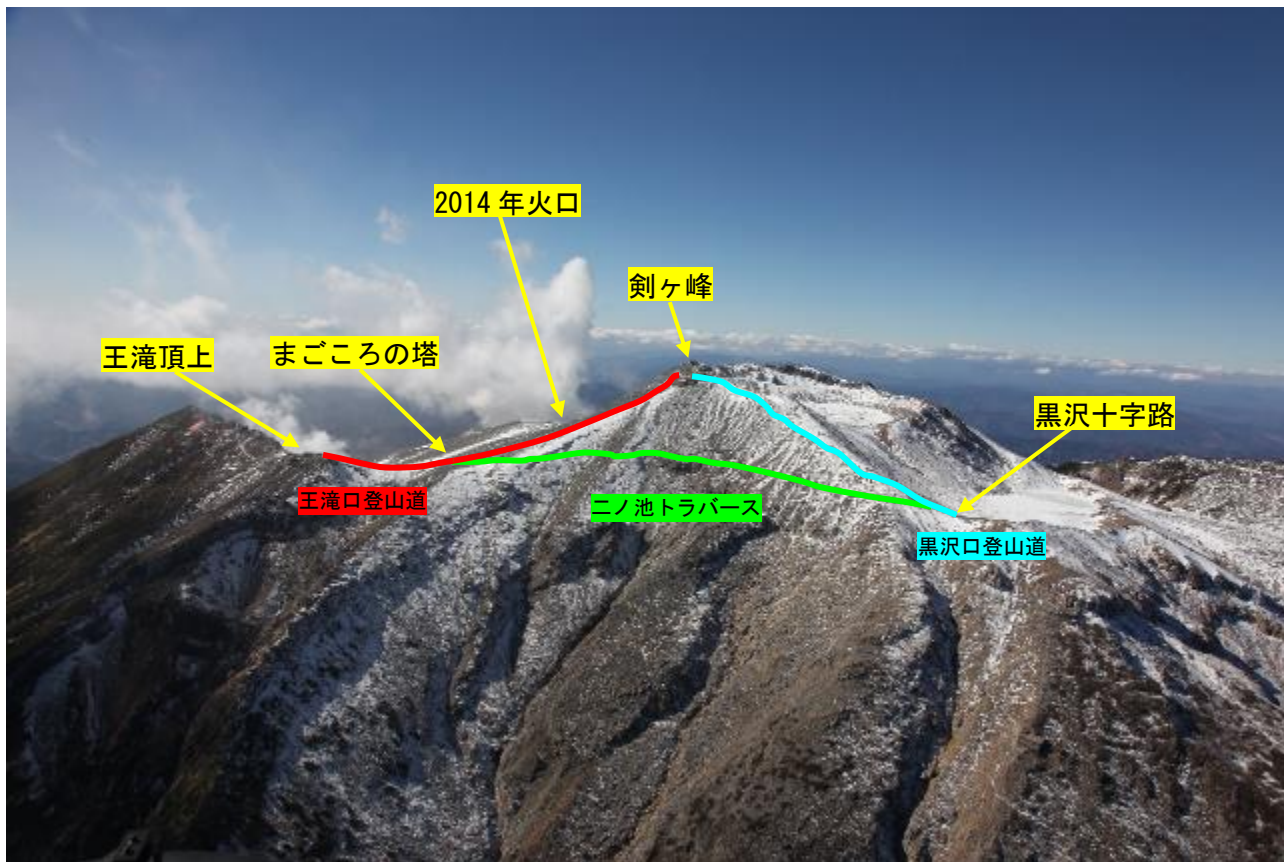


【規制緩和登山道】

- ① 王滝頂上～八丁だるみ～剣ヶ峰
- ② 王滝頂上～八丁だるみ～ニノ池トラバース～黒沢十字路



【御嶽山王滝口登山道規制について】

剣ヶ峰南西斜面における想定火口変更に伴い、令和4年3月31日に改定された「御嶽山火山防災避難計画」で地獄谷火口から概ね500mの範囲が災害対策基本法63条による警戒範囲に設定された。

王滝口登山道は、噴火警戒レベル1火山活動は静穏な状況では、8合目避難小屋から上部の登山道を規制するが、火山活動、安全対策の実施状況等により通行禁止を解除することがある登山道になっている。

令和4年度の登山シーズン中は、8合目避難小屋から王滝頂上までの登山道の規制緩和を実施した。

※冬期間は田ノ原駐車場で規制。

【規制緩和に向けて】

○規制緩和に向けての対策事業は、木曾町、王滝村、長野県で作成した、御嶽山防災力強化計画（概要）に沿って実施する。

また、規制緩和にあたっては御嶽山火山防災避難計画に記載されているとおり、規制範囲の縮小又は解除を判断・決定するにあたり、協議会において気象庁の監視と評価に基づき、火山専門家等の助言を踏まえ関係機関と協議をします。

【規制緩和について】

○王滝口登山道（王滝頂上～剣ヶ峰）と二ノ池トラバース（まごころの塔～黒沢十字路）の整備を行う。

○二ノ池トラバース（まごころの塔～黒沢十字路）は、①、③、⑤のハード対策及びソフト対策を講じたのち規制を緩和する。（令和5年度を目標）

※①は令和4年度に完了

○王滝口登山道（まごころの塔～剣ヶ峰）は、下記のハード対策②、④、⑤及びソフト対策を講じたのち規制を緩和する。（令和5年度を目標）

※②は令和4年度に完了

○二ノ池トラバースと王滝口登山道（まごころの塔～剣ヶ峰）の規制緩和時期は同時に実施する。

《ハード対策》

【避難施設】

① まごころの塔付近にシェルター（鋼製）移設【R4完成】

② まごころの塔～大岩の間にシェルター（鋼製）1基新設【R4完成】

【避難路・登山道】

③ 二ノ池トラバースの整備（ロープ設置含む）

【R2年度実施済み・令和5年度は補修及びロープ設置】

④ 王滝口登山道（王滝頂上～剣ヶ峰）の整備（ロープ設置含む）

【R3年度実施済み・令和5年度は補修及びロープ設置】

【情報伝達施設】

⑤ 携帯電話不感対策（王滝頂上～まごころの塔の約130m）（両端に周知看板を設置）
⇒現地は、電源設備の設置など技術的な問題があり、携帯電話基地局の設置は困難のため、携帯電話不感地帯であることを看板等で周知するととも

に、規制緩和時の情報伝達は御嶽神社王滝頂上社務所に設置したスピーカーで対応する。不感地帯の周知は看板等で実施する。

※③から⑤は R5 年度規制緩和前に実施



① まごころの塔付近にシェルター（鋼製）移設【R4 年度完成】



② まごころの塔～大岩の間にシェルター（鋼製） 1 基新設【R4 年度完成】



⑤ 携帯電話不感対策



《ソフト対策》⑥の改定等

- ① 長野県立御嶽山ビジターセンター（やまテラス王滝）で登山者に登山計画書の確認、ヘルメット等安全装備の確認、火山活動等情報提供などを実施する。
- ② 安全パトロール員の配置強化（監視・指導）
- ③ 標識、注意喚起看板の設置（令和5年度に実施）
- ④ 情報伝達経路の確認等、エリア全体の情報伝達手段を確保
- ⑤ 避難誘導計画（避難誘導マニュアル）の策定、訓練実施
- ⑥ 避難促進施設の改定、避難確保計画の策定

※王滝頂上避難施設完成に伴い地域防災計画に避難促進施設として定め、避難確保計画の策定が必要になる。地域防災計画の改定には時間がかかるため、令和5年度以降に定める予定。

協議会が作成した御嶽山火山防災避難計画（令和4年3月31日改定）では、王滝頂上避難施設は避難促進施設に位置付けられている。規制緩和前に避難確保計画を策定する。

【平常の周知について】

王滝頂上から剣ヶ峰間の登山道は、2014年噴火や1979年噴火の火口に近いこと、突発的な噴火の際に噴石から身を守る避難施設が限られていることを周知し、登山道を通行することに不安な登山者には王滝口からの入山を控えていただく

「王滝頂上～八丁だるみ～剣ヶ峰ルート」と「王滝頂上～八丁だるみ～二ノ池トラバース～黒沢十字路～剣ヶ峰ルート」の2ルートのメリット、デメリットを周知する。

○王滝頂上～八丁だるみ～剣ヶ峰ルート

メリット：例）距離が短いため短時間で登れる

デメリット：例）2014年噴火や1979年噴火の火口に近いルート

突発的な噴火の際に噴石から身を守る避難施設が限られている

○王滝頂上～八丁だるみ～二ノ池トラバース～黒沢十字路～剣ヶ峰ルート

メリット：例) 2014年噴火や1979年噴火の火口から離れるルート

デメリット：例) 距離が長くなる

落石に注意する必要がある

【気象庁から噴火警報や火山の状況に関する解説情報（臨時）が発表された場合】

入山規制を実施し、入山者に対しては防災行政無線やパトロール員により速やかに避難を促す。

→王滝頂上避難施設にパトロール員常駐（王滝頂上避難施設令和4年度から運用開始）

→王滝頂上防災行政無線（令和2年度から運用開始）

【全体的な周知】

○入山者に対し、「御嶽山は活火山であり、突発的な噴火が起こる可能性がある」ことを周知する。（田の原入口、王滝頂上避難施設、HPなど）

○剣ヶ峰南西斜面想定火口域（改正後）から概ね500m圏内（王滝口8合目上部）の避難施設（8合目避難小屋、9合目避難小屋、王滝頂上避難施設、八丁だるみ避難壕、剣ヶ峰避難施設）を周知する。（8合目上部または王滝頂上付近から剣ヶ峰までの情報を掲載したチラシなどを作成）

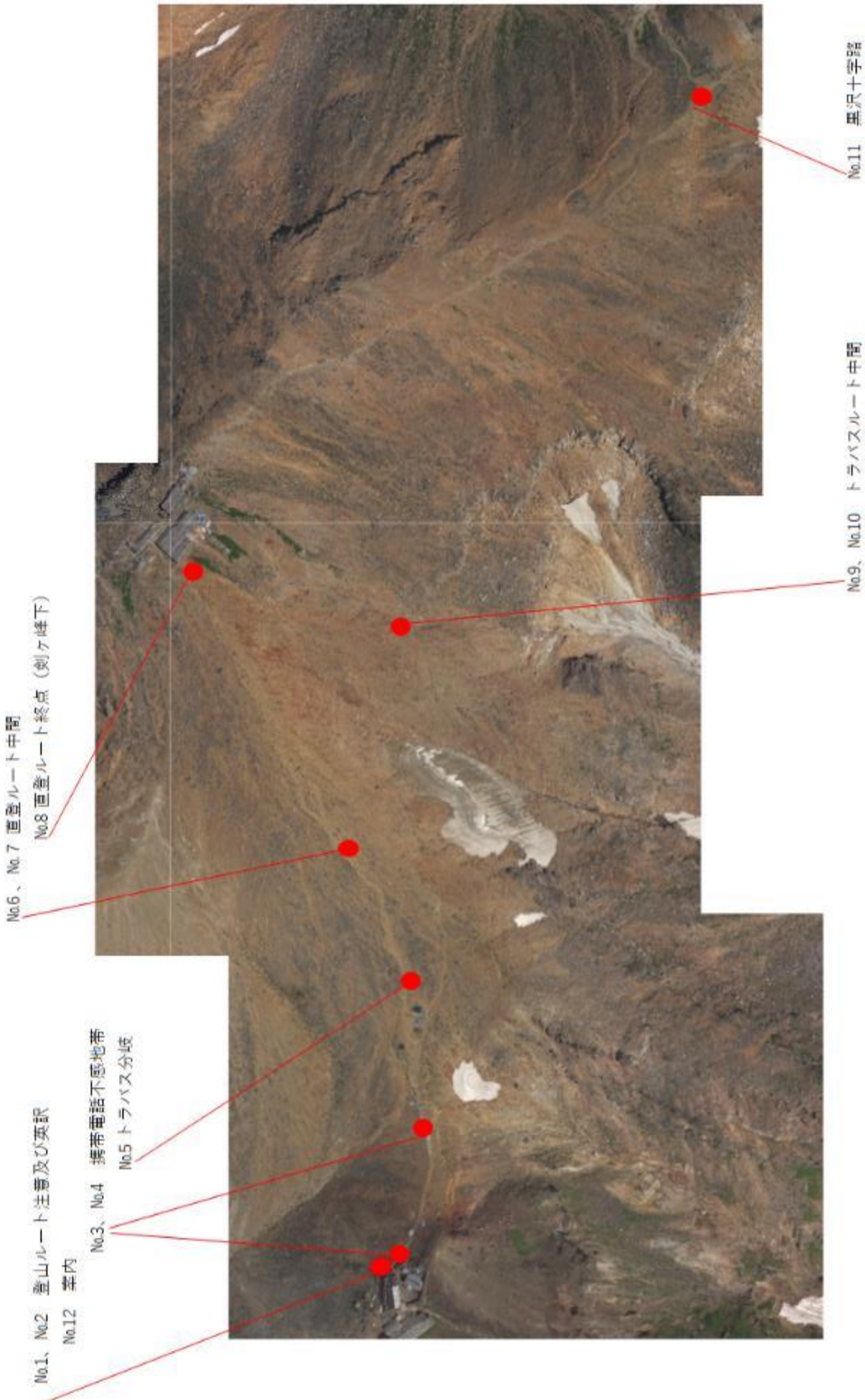
→田の原登山口などへの掲示、HP、防災アプリへの掲載、チラシの配布など

その他

【御嶽山の観測体制】

○2014年噴火以降、気象庁、名古屋大学が観測機器を整備し、噴火前より観測体制が強化されている。

看板設置箇所図



王滝頂上一剣ヶ峰 間の登山道について

この先 剣ヶ峰までは 2つのルートがあります。

① 正面直登ルート コースタイム 上り20分 下り15分

トラバス分岐から上部にはシェルターが1基あります。

想定火口域の直近を通過します。滞留せず、速やかに移動してください。

② 黒沢口経由トラバスルート コースタイム 30分

時間は要しますが、比較的緩やかで想定火口域から離れるルートです。トラバス分岐から先は剣ヶ峰までシェルターがありません。上部からの落石に注意してください。

ここから先、トラバス分岐付近までの約130mは
携帯電話不感地帯となります。

火山活動に異常が生じた時は、緊急放送が流れます。
放送の指示に従い、落ち着いて行動してください。

【 現 在 地 】 王滝頂上
【Current-location】 Outaki-Chojo

Climbing Route Guide

There are 2 routes to "Kengamine".

1st Stratinght Climbing route course time : 20min

- Pass near the crater area.
 - There is one evacuation shelter of route.
- Do not stay, and move quickly.**

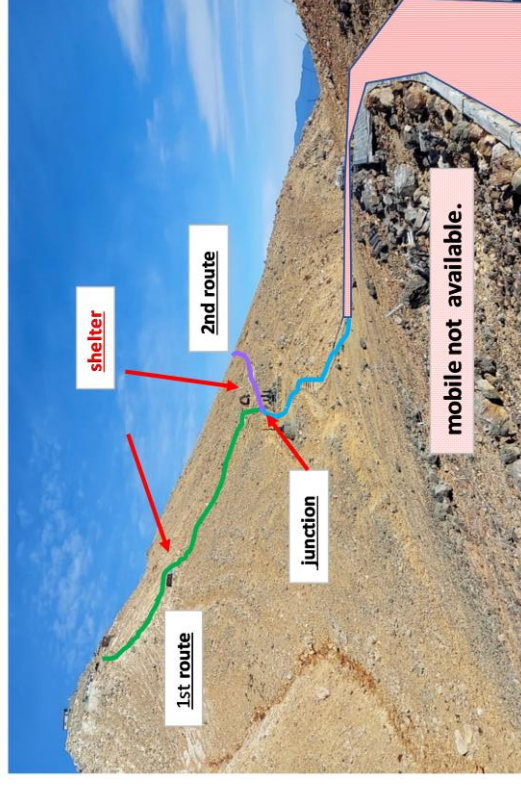
2nd Traverse route course time:30min

- It takes time, relatively gentle course.
- Watch out for falling rocks!!

NOTICE

***Mobile phone communication is not possible for about 130 meters from here.**

***If there is an abnormality in volcanic activity, an emergency broadcast will be made. Please act calmly.**



No.3 携帯電話不感（王滝頂上）

携帯電話不感エリア
mobile no-signal Area

ここから
From here

130m

【現在地】 [current-location]

王滝頂上
Outaki-Chojo

No.4 携帯電話不感（まごころの塔付近）

携帯電話不感エリア
mobile no-signal Area

ここから
From here

130m

【現在地】 [current-location]

八丁だるみ
hattyo-darumi

二ノ池トラバース分岐
traverse-junction



直登ルート

Straight climbing route



二ノ池トラバース
Traverse route

落石注意

Be careful of falling rocks

No.6 直登ルート中間（上向き）

緊急避難所 まで
大岩下シェルター

↑ Emergency evacuation shelter
Under the "Ooiwa" shelter

避難

約 70m

御嶽山は活火山です
Mt. Ontake is an active volcano.
火山活動に注意してください
WARNING: Volcanic Activity

のぼり climb

【現在地】

直登ルート中間

【Present location】

Direct Climb Route intermediate

No.7 直登ルート中間（下向き）

緊急避難所 まで
トラバス分岐
シェルター

↑ Emergency evacuation shelter
traverse-junction shelter

避難

約 80m

御嶽山は活火山です
Mt. Ontake is an active volcano.
火山活動に注意してください
WARNING: Volcanic Activity

くだり descend

【現在地】

直登ルート中間

【Present location】

Direct Climb Route intermediate



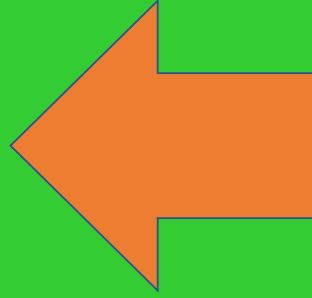
御嶽山は活火山です
Mt. Ontake is an active volcano.

火山活動に注意してください
WARNING: Volcanic Activity

くんだり descend



二ノ池トラバース中間
traverse-
intermediate



黒沢十字路口

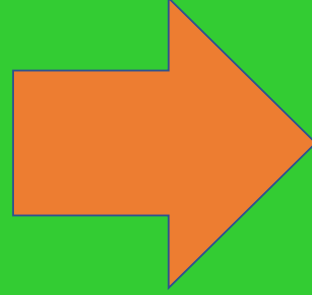
m

"Kurosawaguchi" Crossroads

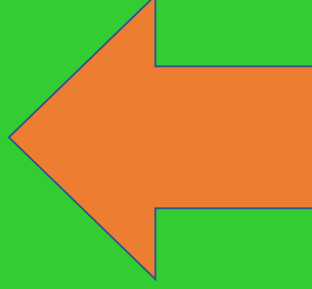
王滝頂上

m

Outaki-Chojo



二ノ池トラバース中間
traverse-
intermediate



王滝頂上

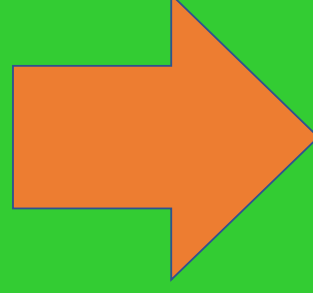
m

Outaki-Chojo

黒沢十字路口

m

"Kurosawaguchi" Crossroads



黒沢口十字路
Kurosawaguchi-
crossroads

王滝頂上
Outaki-Chojo



上部からの落石注意
Beware of falling rocks!



- ・ 直登ルートは想定火口域の間近を通ります。滞留せず、速やかに移動してください。
- ・ ここから先、約130mは携帯電話が使用できません。
- ・ 登山道は上部からの落石に注意してください。
- ・ 事故防止のためヘルメットを着用してください。

令和5年7月28日まで 田の原配布用チラシ (案)

御嶽山立入規制情報

【王滝口登山道規制箇所】

現在の状況 噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）

- 王滝口登山道規制について 令和5年7月10日～令和5年10月13日
1. 災害対策基本法第63条第1項に基づき規制を実施しています。許可なく警戒区域に立ち入った場合は、法律により罰せられます。
 2. 遙拝所から上部の登山道は、令和5年10月13日以降は閉鎖します。
 3. その他の登山道規制の最新情報は、長野県木曾町、岐阜県下呂市、岐阜県高山市にお問合せください。



王滝村(御嶽山火山防災協議会)

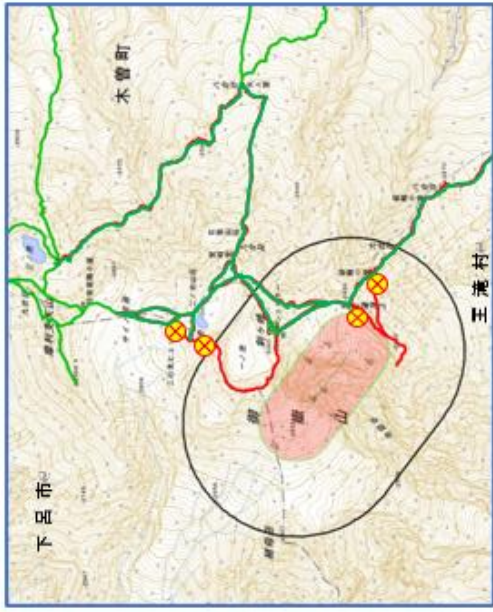
令和5年7月29日以降 田の原配布用チラシ (案)

御嶽山立入規制情報

【王滝口登山道規制箇所】

現在の状況 噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）

- 王滝口登山道規制について 令和5年7月29日～令和5年10月13日
1. 災害対策基本法第63条第1項に基づき規制を実施しています。許可なく警戒区域に立ち入った場合は、法律により罰せられます。
 2. 遙拝所から上部の登山道は、令和5年10月13日以降は閉鎖します。
 3. その他の登山道規制の最新情報は、長野県木曾町、岐阜県下呂市、岐阜県高山市にお問合せください。



王滝村(御嶽山火山防災協議会)